

みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



ワークショップ（第3回）

2024年6月23日（日）14:00～



本日のプログラム

14:00～ 15分	1.前回の振り返りなど
14:15～ 15分	2.今回のワークショップの進め方
14:30～ 60分	3.グループワーク ・社会実験に向けた準備を進める。 (何をする？どこでする？必要なモノは？など)
15:30～ 10分	4.議論の内容の共有、総括

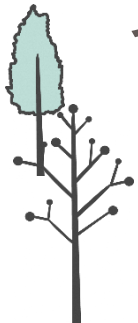
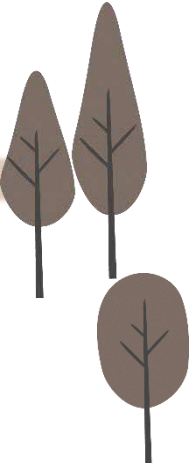
- ・ 申し込まいただいた方々
- ・ 紫金山公園に関係する団体に所属する方

主催：吹田市土木部公園みどり室

アドバイザー：大藪 崇司先生（兵庫県立淡路景観園芸学校）

オブザーバー：吹田市立博物館

ファシリテーター：淡路景観園芸学校の学生の皆さん
：総合調査設計



紫金山公園魅力向上ワークショップの枠組み

3

魅力向上 とは

ゼロベースで公園を作り直すのではなく、現状の「歴史・民俗の伝承、自然環境の保全」という公園の特性を踏まえ、一層の魅力向上を図る

対象

紫金山公園全域

目的

市民と行政の対話、市民相互の対話により相互理解を深める

ニーズ調査等では把握できなかった、よりきめ細かな意見をお聞きます。

※参加者全員の意見を1つにまとめるものではありませんので、自由にご意見ください。

※全ての意見を「目指すべき姿（素案）」に反映するものではありませんので、ご理解ください。

目標

紫金山公園の「目指すべき姿（素案）」の作成

素案をもとに、これまで市が行った調査（公園利用者数調査、ニーズ調査、サウンディング型市場調査）等を踏まえ、市が総合的に検討して紫金山公園の理念や目標像を示めす「目指すべき姿（案）」を作成します。

その後、案についての説明会と意見募集（パブコメ）を行い、広く意見を拝聴した上で、市が最終的に「目指すべき姿」としてとりまとめます。

留意事項

- ①「目指すべき姿（素案）」は具体的な施設内容等を描くものではなく、理念や目標像を示すものです。
- ②博物館エリアや釈迦が池の区域は原則変更しません。

紫金山公園の目指すべき姿（イメージ）

4

①概要

所在地、面積、開設年月、施設など

②課題

(例)施設の老朽化、園内の回遊性、環境保全など

③理念

目指すべき姿を印象づける簡潔な言葉

CREATE PARK LIFE

～「水辺の森×スポーツ×地域交流」みんなでつくろう 中の島 パークライフ～
(例:中の島公園)

④目標

目標とする形をいくつかの視点から簡潔に示す

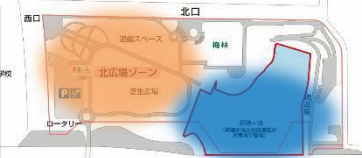
つながりを実感できる
暮らしを実現！

緑豊かでうろおいのある
都市生活を実現！

個性と活力のある
都市づくりを実現！

(例:中の島公園)

⑤魅力向上イメージ



園内をゾーン分けし、各ゾーンのイメージ写真や
運営方針、具体例を記載
※具体的な整備内容を示すものではありません。
※写真は全てイメージです。

⑥ゾーン別運営方針

(例)博物館ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

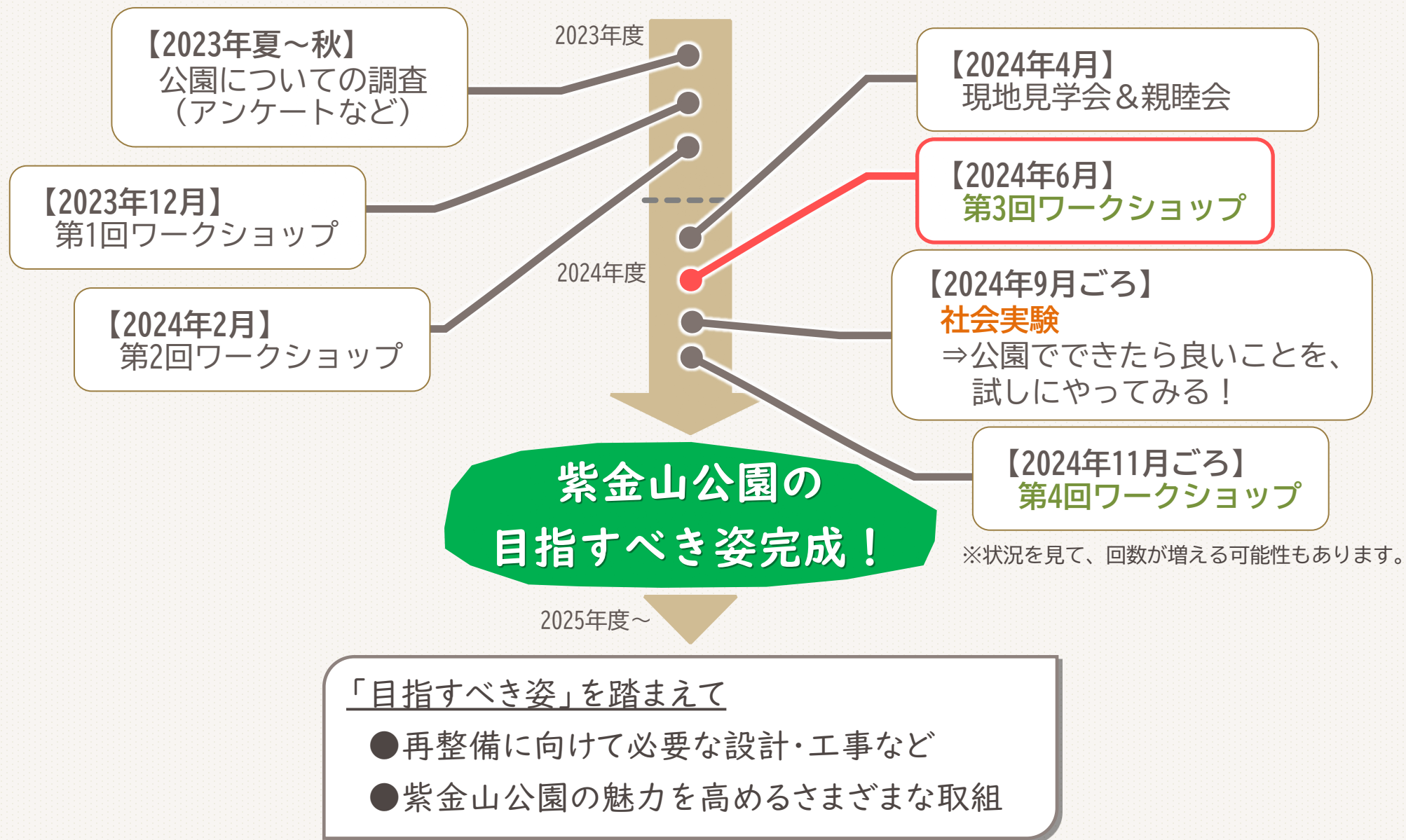
〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

〇〇ゾーン

今後のスケジュール(案)

5



みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



第2回ワークショップの振り返り



前回のワークショップについて

7

- ・実施日：令和6年2月18日
- ・参加人数：45名（うちお子さん2名）
- ・議論のテーマ：「公園でしてみたいこと」についてもう少し深く考えてみる



紫金山公園の「いま」を知る！

公園なう ～現地見学会～

みんなで現地見学会を行いました

⇒公園の魅力や課題を見つけるために、参加者の皆さんと
現地見学会を行いました
(令和6年4月13日(土)、参加者34名)



←北側の広場
からスタート

みどりの会の活動を
説明してもらいました→



←吉志部神社の歴史を
教えてもらいました



見つけた魅力や
課題を共有！ →

見学会の後は親睦会！

⇒現地見学会の後は博物館横の広場に移動！
みんなで一緒に食べて、遊んで楽しみました

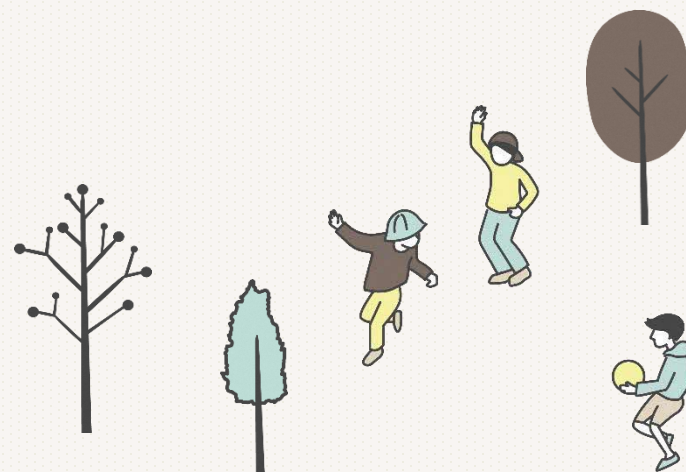


みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



今回のワークショップの進め方



これまでのワークショップで話してきたこと

公園の魅力、公園の課題、公園でしてみたいこと、公園にあればよいもの

今までやったことはないけれど、公園の魅力向上につながるって何だろう？

➡ 実際に試してみないと分からない！

社会実験

実際に試してみて、効果や課題を確認する

新しく「試してみたいこと」がでてくる

どんなことを試してみる？

- ・ 防災の使い方を試してみる
- ・ 自然を活かした使い方を試してみる
- ・ 多世代で交流できることを試してみる
など

試してみてどうだった？

- ・ 公園の魅力向上につながりそう？
- ・ どんな課題があった？
(時間、予算、体制・・・)
- ・ 手伝ってもらう必要がある部分は？

実際に試してみる

紫金山公園の魅力向上に向けて、将来の姿を共有

社会実験のイメージ:IBALAB(茨木市)

11

- ・茨木市の市民会館跡地エリアの活用に向けた社会実験
- ・どのような過ごし方、使い方ができるかを考え、**実際にみんなでやってみて検証**

⇒エリアの整備内容・活用内容につなげる



〈ひと箱広場〉

- ・ひと箱サイズのフリーマーケットを開催

⇒「誰かに使ってほしい」というおもちゃを“ひと箱”に入れて出店してもらう



〈BOOK TRAVEL@IBALAB〉

- ・芝生広場を本やおしゃべりを楽しむ空間に
- ・ゆったりコーヒーを飲みながら本を読んだり、手作り市でショッピングしたり、ピアノ演奏者による演奏を聴いたり



〈まちなかシェアダイニング〉

- ・芝生広場がオシャレなダイニング空間に
- ・参加者それぞれに食べ物や飲み物、食材などを持ち寄って集まってもらい、それをみんなでシェア

〈前回のワークショップ〉

- ・「公園でしてみたいこと」についてもう少し深く考えてみる



▶〈今回(第3回)のワークショップ〉

- ・「公園でしてみたいこと」を試すための準備を進める
⇒前回の意見から、社会実験のテーマを3つ設定しました

憩い・交流

防災

自然・歴史



〈社会実験〉

- ・グループに分かれて、「公園でしてみたいこと」を実際に試す



ワークショップや社会実験の結果を「紫金山公園の目指すべき姿」に反映

第3回ワークショップ(今日)

社会実験でやることや必要なモノ、役割分担を話し合う

グループごとに集まったり、メールなどで意見交換しながら準備を進める

- ・日程を決めて集まって話し合う
- ・メーリングリストを使って意見交換（事務局で準備します） など

社会実験

実施予定日:令和6年9月29日(日)

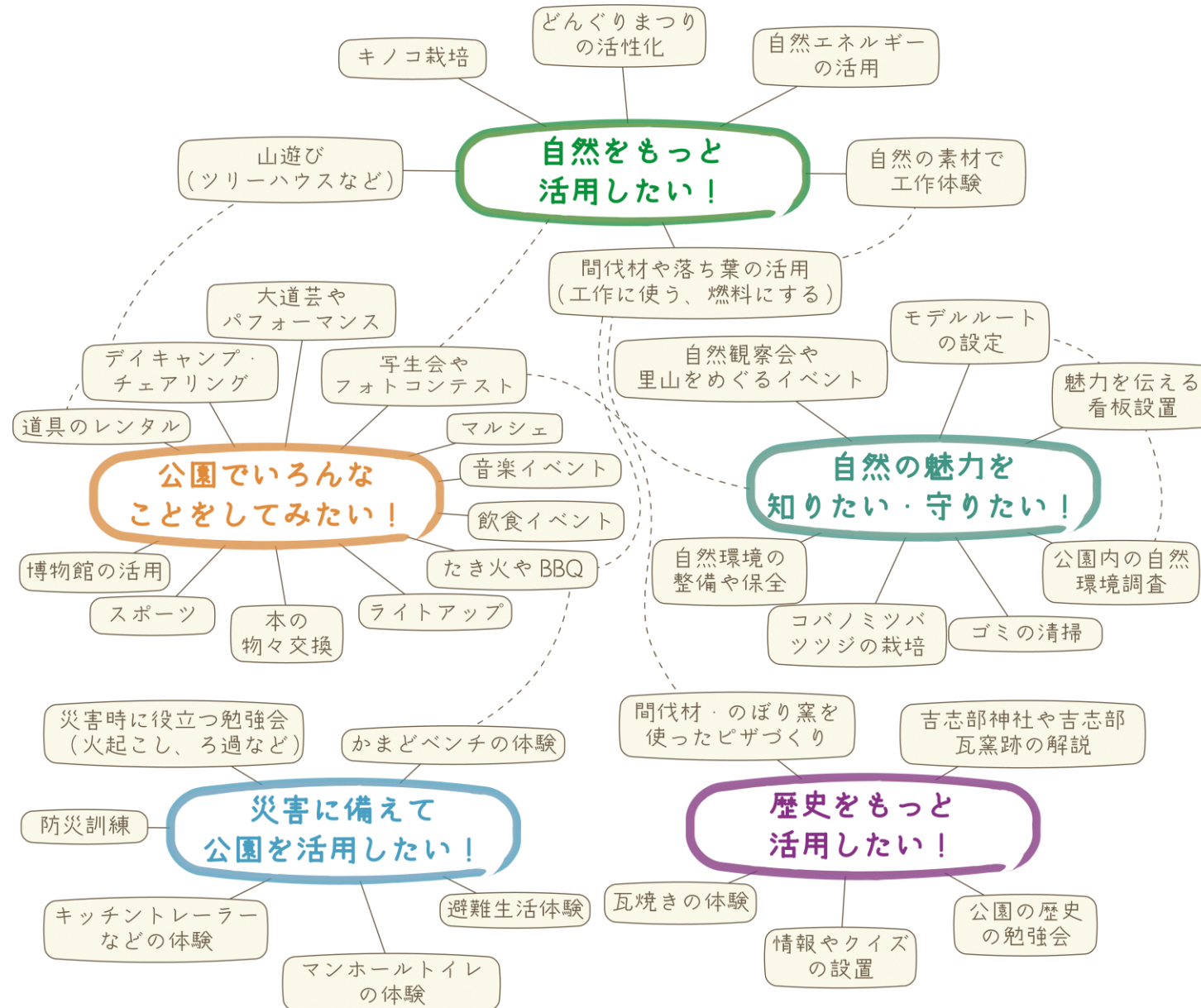
※内容によっては別の日に実施してもOK

第4回ワークショップ

社会実験の振り返り、目指すべき姿の案

前回の意見（やってみることの参考に）

14



前回の意見の整理

15

実施の難易度	憩い・交流	防災	自然・歴史
★ (おそらくできる)	水遊び施設、ボール遊び	焚火・火起こし、 避難ルートの確認	自然観察会(教育含む)、 動植物調査、里山保全体験、 自然ガイド、博物館イベント 歴史ガイド・勉強会、
★★ (課題はあるが できそう)	マルシェ、飲食イベント、 大道芸・パフォーマンス、 写生会、フォトコンテスト、 チェアリング、本の物々交換、 道具のレンタル(テント、おもちゃ)、 ライトアップ・イルミネーション	キャンプ・デイキャンプ (テントを張る)、 落葉・間伐材の活用 (焼き芋)、炊き出し、 BBQ、トレーラー、 防災に関する勉強会、 池の水ろ過	外来生物の駆除、樹木剪定(ま びく、下草刈)、雑木林の整備、 モデルルート、魅力を伝える看板、 謎解き、スタンプラリー、 自然体験イベント (工作、泥遊び、もちつき)
★★★ (課題が多く 今回の社会実験 では難しそう)	音楽イベント、 ツリーハウス、秘密基地、窯 焼き体験(瓦・ピザ)	かまどベンチ、防災トイレ、 エネルギー創出	池調査、コバノミツバツツジ栽培、 キノコ栽培、たい肥づくり

工夫次第では今回の社会実験でもできるかも？

憩い・交流

・公園に新たなコミュニティや風景を生み出せないだろうか？

多世代で交流できて憩える場所をつくってみる！



〈一緒にできそうなこと〉

- ・ マルシェ
- ・ 飲食イベント
- ・ 本の物々交換
- ・ ボール遊び
- ・ チェアリング
- など

ベンチづくりワークショップ

⇒広場に置くベンチをみんなで作成

ひと箱広場

⇒ひと箱サイズのフリーマーケット

かえっこバザール

⇒いらないおもちゃを持ち寄って
遊びたいおもちゃと交換

みんなで寄せ植えづくり

⇒プランターに花やハーブを寄せ植え
みんなで協力しながら管理

まちなかシェアダイニング

⇒参加者が食べ物や飲み物、食材
などを持ち寄ってみんなでシェア。

座り場@ひろさき

⇒椅子や机でゆっくりできる空間づくり。
地元のお店がコーヒーやお菓子を提供。



防災

- ・災害が起こったとき、避難場所として問題なく過ごせるだろうか？
- ・日常的な公園の使い方と災害時の公園の使い方の違いは？

公園にテントを建てて過ごしてみる！



〈一緒にできそうなこと〉

- ・たき火・火起こし
- ・災害時を想定した調理の体験
- ・デイキャンプ
- ・防災に関する勉強会

など

防災ワークショップ

⇒災害時に使える知識を勉強

紙食器づくり

→



ゴミ袋で
雨合羽

←



備蓄品の体験・クッキング



防災運動会

⇒防災クイズ、バケツリレーなど、
楽しく参加できる防災訓練



日常時の公園の使い方

⇒空き缶を使った焼き芋づくり



非常時の使い方をイメージ



水のろ過

←

ツナ缶ランプ

→



ペットボトルで防災
ランタン

←

自然・歴史

・ 自然の魅力や歴史を、もっと発信することはできないだろうか？

自然観察会や里山保全体験をしてみる！



〈一緒にできそうなこと〉

- ・ 写生会、フォトコンテスト
- ・ 自然体験（工作、泥遊び等）
- ・ スタンプラリー
- ・ 謎解き
- ・ たき火に使う薪づくり
- ・ 歴史ガイド、勉強会
- ・ 博物館イベント
- など

公園スタンプラリー、クイズラリーなど

⇒公園内にチェックポイントを決めて、
すべて回った人に景品プレゼント



自然の素材を使った工作

⇒リースの装飾体験
(市販のリース土台を木の実などで装飾)



⇒公園内に自然や歴史のクイズを設置し、
回答した人に景品プレゼント

稲沢公園マップ

マップの中の目印を参考に
クイズのヒントを探そう！

(目印の例)

- ⑤ スタート地点
- ① ヒント地点



スポGOMI大会

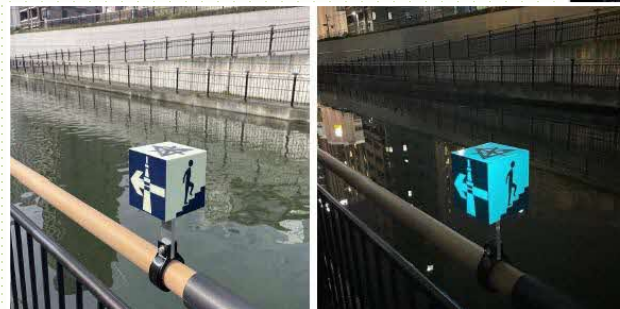
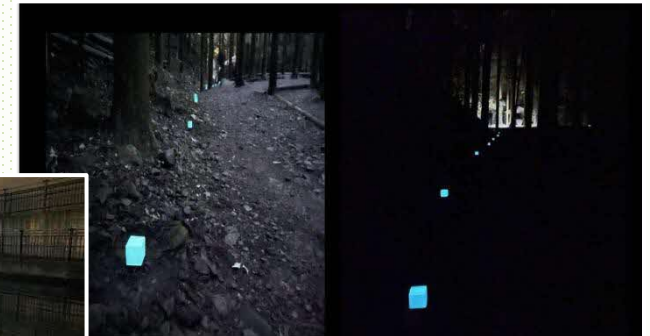
⇒チーム対抗でゴミ拾いを競うイベント



吹田市としてやってみたいこと

22

- ①公園東側の行き止まりになっている
名神高速道路の下をみんなで通ってみる
- ②あまり使われていない場所で
仮設のドッグランを作ってみる
- ③園内の薄暗い場所を、みんながより親しみ
やすくなるように、**環境にも優しい明かりや
サイン**をみんなで設置してみたい
- ④社会実験でやってみたいことに
協力してくれそうな企業に
声をかけてみる



目標・・・どんなふうに取り組む？

⇒社会実験に向けて共通の認識を持つ
(みんなで楽しむ、協力して頑張る、など)

内容・・・何を実施する？

⇒メインとして挙げたもの以外にどんなことができる？

場所・・・どこで実施する？

⇒北側の広場、南側の里山、博物館横の広場・・・

役割分担・・・誰が、何を担当する？

⇒資器材の準備、会場の設営、ガイド役・・・

必要なモノ・・・何が必要？

⇒テント、机、椅子・・・

必要なコト・・・事前にしておくべきことは？

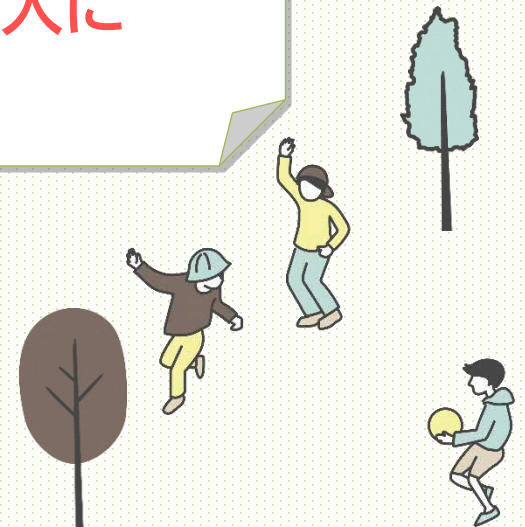
⇒関係者の調整・・・

- まずはできるものからやってみましょう

⇒今回の取組をきっかけに、今後、時間がかかるものにもチャレンジ出来たら◎

- 自分がやってみることを想像しながら、準備を深めていきましょう

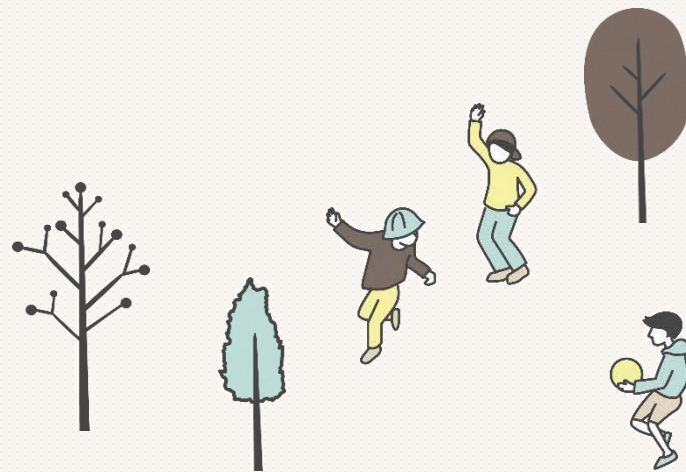
- 自分たちだけではできないものは、知り合いの人に手伝ってもらってもOKです



みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？

グループワーク



みんなで作る 紫金山公園プロジェクト

もっとステキな公園にするために
みんなで一緒に考えてみませんか？



議論の内容の共有



ふりかえりシートを
ご記入・ご提出ください。

●本日のご感想など

今後の
予定

社会実験に向けた準備:グループごとに調整

2024年9月29日 :社会実験

2024年11月ごろ:第4回ワークショップ

- 各グループごとにメーリングリストを作成し、連絡を取りながら準備を進めていきます。
(メールアドレスを持っている方には事前に案内済み)

『憩い・交流』グループ ⇒ shikinzan_ikoi@ra9.jp

『防災』グループ ⇒ shikinzan_bousai@ra9.jp

『自然・歴史』グループ ⇒ shikinzan_shizen@ra9.jp

- 事務局からの情報発信だけでなく、参加者の皆さんの自由な意見交換にもご活用いただけます。
- 社会実験に向けた意見交換、議論をすすめるためのメーリングリストです。
公園の整備、ワークショップ全体への意見等については公園みどり室のアドレスにご連絡ください。 公園みどり室⇒ dousei-kouen@city.suita.osaka.jp
- メールアドレスをお持ちでない方には電話等で情報を発信します。
- うまく登録できなかった人はワークショップ後にお声がけください。
- その他、使い方がよくわからない場合は、事務局にご連絡ください。

事務局 (総合調査設計(株) 安部) 06-6372-0567